

岡村よしき議会報告

よしき新聞

新春号
発行・編集
岡村芳樹後援会
佐倉市中志津6-15-17
Tel.043(488)0229

下志津小緊急耐震化問題の行方

問 「学校の耐震化問題」が「学校の統廃合問題」として混乱した要因として、1つは中志津自治会から市に意見書が提出されていたにも拘らず、短期間で地域住民へ十分な周知をせず、タウンミーティングを強行開催したこと。2つ目に関係している他の自治会へ全く周知がなかった。3つ目に最初から結論ありきで、児童のことを真剣に考えていない等の不信感を払拭できなかったことが大きい。その際再度改めて十分周知した上でタウンミーティングとアンケート調査を行なうと言いな

がら、突然10月25日付市長名で、再度行わず学校の統廃合案を除いた改築案で実施する旨の文書が配付された。私に複数地域住民、学校関係者等から意見が寄せられた。一連のことには、何か後味が悪い、すっきりしない、市と地域の信頼関係がなくなった感覚があるという内容が主です。一方、耐震に拘らず少子高齢化が顕著な地域であることから、「今後のまちづくり」について引き続き継続的なタウンミーティング等を望む声も寄せられています。今後の具体的な耐震改築

問 市では、キャラバンメイトの育成や認知症サポーター100万人キャラバンの積極的な参加等先進的に取り組み、現在8000人程度のサポーターが誕生した。私も9月14日付けでキャラバンメイトになり、講座を開催してサポーターを増やすことが出来る資格を得た。

今後の認知症サポーターの役割

一方、サポーター養成講座等を受ける度にオレンジリングを貰い、多い方で5個位持つっており、重複している為に実人数は減ると考える。今後更に増やすことで何を具体的に目指すのか？どんな事が期待されるのか？

答

明確に示してほしいとの声が少なくない。役割と意思を描く対策を伺う。認知症を正しく理解してもらおうため、認知症の人や家族を見守る応援者を養成し、認知症にやさしいまちを目指します。今後は、更に医師と連携して早期発見・早期治療に結びつける施策を進めて参ります。

高齢者の生活支援

整備計画等について伺う。答 11月20日に「耐震化の行方」について保護者説明会を行なった。校舎第1棟のみ改築し第2棟及び体育館等は、耐震改修工事を実施します。今後、それぞれ建物の改築・改修工事の設計を行い、平成26年～27年度の2カ年で工事を実施する。また今後、少子高齢化社会の到来という避けては通れない現状を見据え、行政・地域・学校が一体となり「まちづくり」の視点から持続可能な社会を築いていくことが重要であり、反省すべき点は反省して、今後とも地域とコミュニケーションをとり、より良い「まちづくり」を進めて参りたいと決意しています。


問

市内3カ所で地区社協を中心家事援助等を主に安価で生活支援ボランティア活動が行われている。新たに「生活支援サービス」の立ち上げを準備している地区もある。一方で活動拠点が見つからず、初期投資が必要なことや毎月の運転資金が心配等の理由により、事業開始が遅れる現状等も聞かれます。市長は、常々

答

「生活支援サービス」が各地域に広まるとを期待していると公言している。今後、地域に限なく広めていくために、場所の提供・整備等の初期投資金等、何らかの踏み込んだ支援策が必要と考える。如何な考えか伺う。

岡村よしき 後援会より



佐倉市議会議員 岡村よしきは市民の皆様の声に真剣に耳を傾け、安心・安全の住み良いまちづくりに全力でがんばっています。さまざまなご意見・ご要望を、身近なところからお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。暮らしのご相談もお気軽にどうぞ！

岡村 よしき 連絡先
043(488)0229 FAX兼用
E-mail okamura@catv296.ne.jp
http://www.e-giin.net/okamura/

編集後記

次回定例会市議会予定
2月25日開会、3月25日迄1ヶ月間の予定です。お気軽に議場へお越し下さい。